



# 音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之  
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email [nichion@yomogi.or.jp](mailto:nichion@yomogi.or.jp)

## 千葉音楽祭の開催準備を継続

新型コロナウイルス感染症の拡大の中、沖縄5・15平和行進が中止になり、メーデーの式典を中止する地区も相次ぐなど大きな影響が出ています。

練習会場が使用できないほか、会員のコロナ感染への不安から、練習を中止・延期した支部・サークルもあるなど、日音協でも影響が出つつあります。

こうした状況を受け、3月22日に開催した幹事会(全員出席)では、第53回はたらくものの音楽祭(千葉音楽祭・6月13日、14日)の開催の可否について検討しました。

幹事会としての結論は、開催まで2ヶ月半以上もある現段階において、中止を決定するのは、時期尚早であることから、連合千葉と連絡を密にしながら、当面は開催に向け準備を進めることとしました。

しかし、決して楽観できる状況ではないことから、引き続き状況の変化を見極めながら、5月10日(日)の幹事会で音楽祭開催の可否を判断することとします。開催にあたっては、感染拡大がある程度沈静化していることが前提になりますが、その度合いに応じた感染防止策が必

要です。客席、ステージ上(演奏者、スタッフ)、ホワイエ、練習室、全国交流会といったそれぞれのリスクに応じた感染防止策を検討いたします。同時に、日音協が音楽祭開催に必要な量のマスクやアルコール消毒液を確保することが許されるかということも考慮します。逆に今後、感染状況が急激に悪化するような場合は、5月の幹事会を待たずに中止の判断を下すことも併せて確認しました。

このような経過をご理解いただき、各支部・サークルのみなさまにお願いです。

各支部・サークルの状況も千葉音楽祭を開催するかどうかの重要な判断材料ですので、支部・サークルの練習状況や困ったこと・不安の声などを、日音協メンバーリストその他の方法で、日音協幹事会に随時お聞かせください。

みなさまのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

### 音楽祭出演申込締切を延長

3月9日つけの第53回はたらくものの音楽祭企画書では、「4月28日(火)」をエントリー

の締切とし、「出演内容(曲目等)の締切は、5月9日(土)とし」といたしました。新型コロナウイルス感染症の影響を5月10日の幹事会で見極めることにしたことから、エントリーの締切、出演内容(曲目等)の締切ともに、5月16日(土)に延長いたします。

事情をご理解のうえ、締切厳守にご協力をよろしくお願いいたします。(日音協幹事会)



反原発うたいたい (20200313)

福島より 武藤類子(3/7東電本社前抗議行動にて)

長い年月、毎月、東電前で行動を起こして下さっている皆さまに心から感謝いたします。原発事故から9年。今それぞれの胸の中で、原発事故はどのように感じられているのでしょうか。私は最近、この9年間に失ったものへの懐かしさに、胸が苦しくなります。癒されることのない傷は、更に被害者を追い詰めて行きます。福島県で昨年震災関連自殺と認定された人は12人、今までに115人になります。

福島は3月に行われるオリンピック聖火リレーが最大の話題となり、それを利用して事故がもたらした様々な問題や困難を、強引に片付けようとする、上手に隠したりしています。今まで帰還困難区域だった地域も、部分的に避難指示を解除し人を帰し、不通となっていた常磐線も帰還困難区域を省いて、全線開通させます。聖火リレーが出発するJヴィレッジには、既に全国から大人も子どもも集まりサッカーに興じています。このオリンピックは「復興五輪」と呼ばれますが、被害者にとっての復興などいったいどこにあるのでしょうか。

また、このオリンピックは「汚染水はアンダーコントロールされている」という、アベ首相の嘘から始まりました。原発サイト内のタンクに貯められたALPS処理汚染水は120万トンを超えました。経産省の汚染水に関する小委員会は、それを海洋や熱気放出する提案を、漁業者や県民の反対の声を聞くことなく、地元町民のために、強引に取りまとめました。昨年始まった原発サイト内の排気筒解体工事は、トラブルが続く、完全に遠隔操作で行うはずの工事でしたがゴンドラで人が登り、外側からクレーンで切ると結局人が登る事態も起きています。

昨年9月に東京地方裁判所が下した東電旧経営陣の、原発事故の責任を問う刑事裁判の判決は信じられないことに被告人全員が「無罪」でした。この判決は、福島県民をはじめ多くの被害者にとってはおおよそ納得のできないものであり、更なる苦悩と失望を与えました。検察官役の指定弁護士は「原子力行政に付度した判決」とコメントしました。37回に渡って行われた公判で明らかにされた、多くの証拠や証言をほとんど反映せず、東電に有利な証拠ばかりを拾った判決文でした。裁判所は間違った判断をしました。あれだけの証言や証拠がありながら、「これで有罪が問えないのか」と悔しく思います。今後裁判は、控訴審に移ります。裁判所には、他の権力から完全に独立した正義の砦であって欲しいと望み続け、私たちの尊厳を取り戻すために控訴審を闘って行きたいと思えます。

東京電力は、ADRの和解案を多数拒否し、福島地裁が下した和解案まで拒否しました。原発事故の被害者が何を失ったのかを、本当に分かるようにしているのでしょうか。いったい誰のせいだ、私たち被害者の苦しみはあるのでしょうか。東電は原発事故の責任をしっかりと自覚し、日本原電への債務保証などゆめゆめ考へることなく、被害者への完全な賠償と原子力からの即時撤退を強く望みます。東電本店前抗議行動の皆さま、どうか健康に気をつけて、ゆるぎない闘いを続けてください。私も福島で、ともに頑張っていきたいと思えます。

# 曲をつけてみませんか

この詩は、詩人宮尾節子さんが、2007年に作られた作品。その7年後に、Twitterに投稿したことをきっかけにネット上で話題となり、ラジオ番組で眞鍋かをりさんが朗読するなどして、広く知られるようになり、宮尾節子さんは後にこの詩の著作権を放棄しました。

宮尾節子さんは、第10回ラ・メール新人賞を受賞し、新鋭の詩人として注目されながら、音楽への造詣も深く、昨年のイットクフェスにおいて、DJとともに、音楽と詩の融合を試みたすごい人。この詩に曲がつくことも楽しみにしてくれています。(坂口美日)

## 明日戦争が始まる 宮尾節子

まいにち  
満員電車に乗って  
人を人とも  
思わなくなつた  
インターネットの  
掲示板の力キコミで  
心を心とも  
思わなくなつた  
虐待死や  
自殺のひんばつに  
命を命と  
思わなくなつた  
ばつちりだ  
戦争を戦争と  
思わなくなるために  
いよいよ  
明日戦争が始まる

## ひかりとともに

詞:谷森駿 曲:港大尋(原曲:グノー)

Chords: C/D, G/D, A/D, 2xGm/D, D, 2xGm/A, D, Em7/D, A/C#, D, Bm/D, E7/D, A/C#, DM7/C#, Bm7, E7, A, Adim, Em/G, Gdim, D/F#, GM7/F#, Em7, A7, D, Am/D, GM7, G#dim, Dm/A, Bm7, Em7/A, D/A, Em7/A, A9, Fdim/A, D/A, Em7/A, A9, C/D, G/D, A7/D, D, C/D, G/D, Gm/D, Gm/A

Lyrics:  
さあ いま うまれ る 知 らない  
メ ロ デイ 知 らない こ と ば さあ ー ゆ う き  
を し ぼ っ て こ わ ー が ら ない で  
お そ れ ない で み ー つ け る こ と ー お ど ろ  
く よ ろ こ び さ あ ひ ら こ う さ あ あ  
け よ う お お い を か ー げ に ひ そ ン だ  
ち い さ な さ ら め き ひ ー か り と と も に い ま な に か  
が は じ ま る

## 日音協の行動日程(経過と予定)

### 経過報告

- 2/1 第2回幹事会
- 2/6 富山県支部定期総会
- 2/7 官邸前反原発行動(他に14日、21日、28日も)
- 2/21~2/22 日音協セミナー、日音協若い会員の交流会(いずれも東京都小平市)
- 2/26 第53回はたらくものの音楽祭第1回千葉県実行委員会(千葉市)
- 3/6 官邸前反原発行動(他に13日、20日、27日も)
- 3/7 国際婦人デー東京集会
- 3/7 東電前抗議行動
- 3/8 第53回はたらくものの音楽祭千葉県実行委員会・事務局会議(習志野市)
- 3/14 原発のない福島を! 県民大会(中止)
- 3/20 さようなら原発全国集会(中止)
- 3/27 最高裁前緊急アクション・辺野古訴訟上告却下抗議行動

### 今後の予定

- 4/23 第53回はたらくものの音楽祭第2回千葉県実行委員会
- 5/3 5.3 憲法集会2020 平和といのちと人権を! PEACE FESTIVAL  
3月30日の実行委員会で、開催の是非について議論され、予定していた有明防災公園では行わないことは決定しました。その他、実施するかしないか。また実施する場合、どのような規模・手段・場所にするか判断は4月15日に行うことになっています。
- 5/10 第4回幹事会
- 5/14~17 日音協沖縄行動2020  
⇒沖縄平和行進中止のため中止
- 5/30 反核燃の日全国集会(青森市)
- 6/13~14 第53回はたらくものの音楽祭(千葉市)
- 6/13 全国交流会
- 6月 はたらくものの音楽祭 in 秋田
- 7/4~5 全国代表者会議(各ブロック合宿)
- 9月か10月 印牧真一郎メモリアルコンサート
- 11/14 第57回日音協定期総会(予定)
- 11/15 第1回幹事会(予定)

## 水道橋だより②

メーデー合唱団は、練習会場として使用しているT区の音楽室の貸し出しが3月から中止となり、練習も打ち合わせもできないでいる。2012年より続いてきた毎週金曜日の国会周辺の抗議の声も止んでしまった。大小の集会も行動も中止続き。コロナウィルスは確かに怖い。だが、コロナウィルスとは全く違った種類の脅威が、静かに確実に私たちの中に侵入し、私たちをコントロールし始めている気がする。気のせいなら良いのだが。(坂口美日)

# 3月 東電前抗議行動

武笠紀子（反原発自治体議員・市民連盟）

東京電力福島第一原発過酷事故から9年目。今年は3月7日(土)に東京電力本店前での抗議行動をおこないました。毎月第1水曜日に東京電力本店合同抗議行動を重ねて78回。3月は多くの人が参加できるように特別に土曜日に設定。今年は新型コロナウイルス問題で福島第一原発事故関連の多くのイベントが中止になっておりますが、風の通る路上での行動であり、主催者も参加者も各々ウィルス対策をすることで予定通り実行しました。

主催者（「経産省前デモひろば」とたんぼぼ舎）からの開催の挨拶に続いて、オープニングコールと多摩川太鼓の演奏で始まり、多方面の方からのスピーチがありました。

「たよひなら原発1000万人署名」の鎌田慧さん。「福島原発被害者訴訟原告団」の鴨下祐也さん。帰還困難区域双葉町から避難の亀屋幸子さん。「たんぼぼ舎ポランティア」の渡辺善恵さん。「肉球新党」のみなさん。「東海第二原発差し止め訴訟原告団」の大山光伸さん。「たんぼぼ舎共同代表」の山崎久隆さん。東電の原発現地の福島と新潟からのメッセージも読み上げられました。福島からは福島原発訴訟団の武藤類子さんのメッセージ（別掲）。新潟からは近藤容人さんと蓮池透さんからのメッセージです。

申し入れ行動は2団体。「反原発自治体議員・市民連盟」と「原子力民間規制委員会」から申し入れ書を読み上げて東電の担当者に渡しました。

音楽は、金曜夜の官邸前抗議行動に毎週参加している「日本音楽協議会」のみなさんと沖繩三線の豊岡さん。シヨートコールも2つはさんで、最後は恒例の「福島を忘れない」のドンパン節と「東電はつくなえ」の多摩川太鼓で締め括りました。

カンパは、47100円でした。ご協力いただきありがとうございました。新型コロナウイルス問題にも関わらず約195人もの参加者でにぎやかに抗議行動ができたのはうれしかったです。参加してくださったみなさま、賛同団体のみなさん、ありがとうございました。

## 日音協ソング2020の募集について

日音協の活動にご協力いただいていることに、改めてお礼を申し上げます。

日音協は、「みずからを表現する運動」「つくり・うたい・ひろめ・つなぎあう、四つの活動」として、一貫して創作を重視し、創作活動を推進するために毎年日音協ソングの募集と選考、紹介をしてきました。日音協ソング2020は引き続き日音協幹事会の責任で、応募曲の中から入選など全国に広めたい曲を選考し推薦曲を決定して、11月の総会に発表することにします。第53回はたらくものの音楽祭出演申込書でも応募できることとするとともに、6月14日を応募締切にしますので、同音楽祭で演奏される新曲を、積極的に応募されるようお願いいたします。

日音協各支部、各労組音協、各サークル、会員の積極的な応募を要請いたします。

記

### 1 対象

- (1) 歌詩のついた音楽とし、詩だけ、曲だけの応募は受け付けません。みんなでうたえる歌、というような限定はしません。
- (2) はたらくものの音楽祭ですでに演奏されたことのある曲は対象にしません。
- (3) 詩または曲の作者である日音協会員が応募することとして、会員ひとり2曲までとします。
- (4) 日音協会員以外の方がつくった作品の場合、日音協支部の推薦が必要です。1支部につき2曲までとします。

### 2 応募方法 ①②③のいずれかとします。

#### ① 歌詩つきの楽譜

日本音楽協議会事務所に送るか、または第53回はたらくものの音楽祭受付に提出してください。

#### ② 音源

CD、カセットテープなどの媒体か、電子ファイルとして、日本音楽協議会事務所に送るか、または第53回はたらくものの音楽祭受付に提出してください。

#### ③ 第53回はたらくものの音楽祭での演奏 曲名、作者名（詩・曲）と第53回はたらくものの音楽祭での演奏で日音協ソング2020に応募するむねを記して日本音楽協議会事務所に送るか、または第53回はたらくものの音楽祭受付に提出してください。

### 3 締切り 日音協事務所に送る場合は、2020年6月7日(日)24:00

音楽祭受付に提出する場合は、同月14日(日)13:00

### 4 審査 日音協幹事会の責任で2曲程度の推薦曲を選びます。

### 5 推薦曲の公表 2020年11月14日予定の日音協第57回定期総会で推薦曲を披露し、日音協機関紙『音楽運動』に楽譜を掲載するとともに、第54回はたらくものの音楽祭で演奏していただきます。

### 6 応募作品等の提出先

(1) 日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区三崎町3丁目10-15富士ビル505号室

FAX 03-6369-3057 インターネットメール nichion@yomogi.or.jp

(音声データファイルの場合は、メール添付ファイルでなく、「Yahoo! Box」などダウンロード先URLを指定する方法としてください)

(2) 第53回はたらくものの音楽祭会場受付（千葉県教育会館ホール）

# 弱き者とともに涙しよう 弱き者とともに生きよう!



～どれだけ叫べばいいのだろう／奪われ続けた声がある／聞こえるかい？聞いているかい？／怒りが今また声となる／ソリヨモヨラノエヨオノラ／声よ集まれ歌となれ／トムヨモヨラノレブルジャ／声を合わせようともに歌おう～

文科省前にこの歌が木霊する。棘のない、若い、澄み切った声が、しかし、心を揺さぶり、心に突き刺さる。歌の真実が、鋭い針となって胸をつく。朝鮮高校の授業料無償化措置からの排除に立ち上がった在日朝鮮人の若人は、毎週金曜日に文科省前で抗議の声を上げ、歌い続けてきた。2020年2月21日、200回を数えた。

毎週の金曜日、歌を聴き、在日朝鮮人の若人の叫びを聞いてきた文科省の職員は、心は揺れないか、痛まないか。聞いてみたい。ある朝大生は「差別とたたかいは、時には辛くやりきれない。しかし、この場所に立つことによって私たちは強くなる」と語った。強くなった分、しかし、その心の傷は深い。

安倍首相は、政権奪還の直後の2013年2月20日、文科省令を改定して朝鮮高校だけを授業料無償化から排除した。あからさまの差別は、日本で生まれた朝鮮高校の生徒を、どれだけ傷付けたか。自身の故郷を知り、言葉を覚え、自身のアイデンティティーを確認する民族教育は、権利だ。「どんな場所でも、自身の民族性を守り、愛することは、誰かに拘束されるべき事ではない」昨年、文科省前にたった韓国の教職員組合の統一委員長チョ・キョンソンさんは、そう述べて差別撤廃を訴えた。

イラン出身のタレント、サヘル・ローズさんの話を聞いた。母子家庭の貧しい中で、明日の授業に使うバラの花を買った。やっと買ってもらったそのバラは、いじめっ子の足の下で潰れた。バラの花を持たないローズに、理科の教員は「君は授業に出る資格がない」と言った。理解者だと思っていた教員から投げつけられた言葉は、どれだけのものだったか。彼女は、三千人の前で、泣きながら語った。この話に涙しない人がいだろうか。

差別があるから、差別されることの恐怖がある。そして、人は差別する側に回る。権力は、自らの存在のために、差別をつくり出し、差別をあおる。だからこそ、安倍首相の心は、真実で揺さぶられることはない。被差別者の声に、揺さぶられることはないのだ。日本人よ、弱き者でいよう、弱き者とともに生きよう、弱き者とともに涙しよう！日本社会は、そのことでしか救われない。

藤本泰成  
(平和フォーラム議長)

## 印牧真一郎メモリアルコンサート 合唱曲「飛ぶ橋」 小熊秀雄没後80年

小熊秀雄は1901年に北海道小樽市に生まれ、1933年から1940にかけて「しゃべり捲くれ」とばかり貧窮のどん底で詩を書き続け、39歳の若さで亡くなった詩人です。「生涯中に身の丈ほどの詩集」を積み重ねるといふ目標に従って精力的な創作を続けましたが、生前発行された詩集は「小熊秀雄詩集」と「飛ぶ橋」の2冊だけでした。

「歌のあつまり『風』」を率いた指揮者の印牧(かねまき)真一郎さんは、小熊の詩に惹かれて、「蹄鉄屋の歌」「ゴオルドラッシュ」など、林光さんにその合唱曲を委嘱・初演するなど、小熊の作品に関わる活動をしてきました。そして今回企画の「飛ぶ橋」には、ひとかたならぬ思いを語っておりましたが、それが実現できぬまま、2017年4月19日にお亡くなりになってしまいました。

「飛ぶ橋」は副題に、〈アイヌ民族の為に〉とあるように、樺太の冬、二十数戸のアイヌ漁村の自然と人間に対する熱烈な共感で語られた、小熊秀雄の長編叙事詩です。

今回、作曲の港大尋さん、構成・演出の杉浦久幸さんの協力を得て、念願だった作品に私たちはようやく取り組むことができました。そして今年には小熊秀雄の没後80年という、絶好のタイミングでもあります。プログラムとして新作「飛ぶ橋」の他、前述の「蹄鉄屋の歌」「ゴオルドラッシュ」(2曲とも林光/曲)他を予定しております。

### 印牧真一郎メモリアルコンサート概要

小熊秀雄/原作

港大尋/作曲

杉浦久幸/構成・演出

企画・制作/歌のあつまり『風』

企画協力/竹田恵子(元こんにゃく座代表)

公演日:2020年9月または10月を考えています。

会場:都内または都内近郊のコンサートホールを考えています。

■東北地方、東京都内と近郊、富山県内の日音協会会員や友人たちもうたいます。

■お問い合わせは

歌のあつまり『風』印牧善雄 090-1803-4392

FAX: 03-6318-3827

Eメール: y.kanemaki@r6.dion.ne.jp

経済支援せず自粛要請「ひきよう」■緊急事態宣言は危険

朝日新聞 2020.3.29  
=文化・文芸=

視点拝借②

新型コロナウイルスの感染が世界規模で広がる今、ミュージシャンの坂本龍一は、2009年に亡くなった野野清志郎の言葉を思い出し出している。この非常事態を見透かしていたかのような、盟友の言葉とは。  
坂本が代表・監督を務める東北ユースオーケストラも今月予定していた公演を中止した。感染を拡大させないことが大事。人間は自然の一部だし、仕方がないですねと冷静にCDが売れないため公演への依存度が高い音楽業界は苦境に立っているが、「人間は歴史の中で何度もこういう経験をして、それでも音楽はなくならなかった。この状況に適應する新たな方法を探していくしかない」とみる。

二辺野古新基地建設反対3.6首都圏集會に寄せて

本日この教育会館大ホールに大結集をいただきました首都圏を中心とした全国の仲間のみなさん。今晚は、

沖縄平和運動センターの山城です。本来なら私自身も本集會に参加して、緊迫する辺野古情勢また強行される先島諸島への自衛隊基地建設問題について報告し、引き続き全国支援のお願いを申し上げるべきですが、諸般の事情で集會参加がかなわなくなりました。まずそのことをお詫びを申し上げますと共に主催者のご配慮で挨拶に代えてメッセージさせていただく機会を得ましたこと深く感謝申し上げます。

さて安倍内閣は遮二無二辺野古新基地建設を進めるために、沖縄県に対し今月中にも埋め立て変更申請を行うという緊迫した局面で、首都圏の皆さんが時を違うことなく本集會を開催され辺野古新基地建設計画に反対する決意を新たにす場を設けた意義はまことに大きく、今後この熱が全国に波及し反対運動に大きな盛り上がりをつくってくれるものと期待しています。

すでに数多く指摘されているところではありますが、この辺野古新基地建設は大浦湾に広がる軟弱地盤問題をはじめ幾つもの重大な問題に突き当たっているとされます。本集會案内書にも詳細報告されている通りであります。現地沖縄では辺野古新基地建設がいかに無謀で杜撰な計画であるかが連日のように報道されています。整理すると①埋め立て予定地に広がるマヨネーズ状と言われる軟弱地盤の存在。②世界でもかつて経験したことがないという海面下90mでの深海工事。③大浦湾に群生するサンゴ移植問題。④先日政府が唐突に発表した全ての埋め立て土砂を県内調達を行うことに関する問題

などとなります。どれを取り上げても政府がこれまで十分な説明を行えない難問であり、さらに埋め立て予定地のど真ん中に流れ出る美謝川(びじゃがわ)の水路変更問題について水利権を所轄する名護市との協議が今だに行われぬまま棚上げにされていること。この件は野党多数の名護市議会の構成を変えない限り打開の糸口はないことなどです。

先の4項目については全て知事権限が行使される『埋め立て承認に関する変更申請』の対象となっており、玉城知事が圧倒的な県民世論を受けて政府の変更申請を受け付けないことが明白である以上、常識的に言えばもはやこの計画をこのまま続けることは不可能であり、政府は建設をすみやかに断念すべきなのです。辺野古の闘いは丸5年が経過しやがて6年になろうとしています。表向きは、辺野古でも安和や塩川港でも抗議行動が機動隊に排除されて政府主導で事が運んでいるように見えますが、如何ともし難い壁にぶち当たり、追い詰められているのは政府の方です。お集まりの皆さん。まずはそのことを確認しましょう。

その上で今後の私たちの運動について考えてみましょう。悪辣極まりない安倍内閣のことです。間違いなく県知事に対し変更申請を行うでしょう。そして知事が応じないと見るや翁長知事が行った承認撤回の際に取った防衛省と国交省間での猿芝居で県知事権限を封じるか、あるいは政府の御用機関と化した福岡高裁那覇支部に訴え出て計画変更を正当化していくでしょう。

しかし変更申請に関する沖縄県とのやりとりの難しさは強権発動で押さえ込んだとしても、先に挙げた工事遂行に伴う技術的困難さは依然として解決されず残ることになります。

①②について。70mより深い海域での工事はできない。政府は70mまでの工事で可能と開き直っていますが、新潟大学の立石名誉教授はそれでは護岸は崩壊すると警告しています。

③世界遺産にも登録されようとする大浦湾のサンゴ群は、それが息づく条件が大浦湾に揃っているからそこに生息する訳でそこ以外に持って行きようがないし、そもそもあの巨大なサンゴ群を移植する技術などないのです。

④本来2000万立方メートルに及ぶ埋め立て土砂の大半は全国各地から搬入予定であったが、県条例に阻まれて全てを県内調達に変更するという。そうするとこれまで県内調達を全体の四分の一程度と見込んでいたことからすれば全ての搬入調達に関する条件を4倍にしなければならぬ。トラックや運送船舶の数、積出港、あるいは各地に際限なく広がる採石場で警備に当たる警備員や警察機動隊など単純に言えば全て4倍揃えなければならないことになる。今日、概算でチャーターされている運搬船や台船の数およそ20隻それが80隻に、トラックは1日当たりおよそ500台それを2000台に。動員される機動隊の数150人は600人に、という計算になる。すでに土建業界からすべてのトラックや資材材または人員を総動員しなければならぬがそれは不可能だと漏れ伝わっている。

結論から言えばこの工事は技術的にも不可能なのです。それを強引に行おうとすればいたすらに工期が延びるだけです。全ての工事条件を変えないとすれば、単純に政府の予想する工期13年が52年に延びることになりそもそもそんな公共工事はあり得ないし、米軍も納得しないでしょ。遅かれ早かれ政府はこの工事を断念しなくてはならないでしょう。

ただここで注意されなければならないのは、政府は自らは引かない。時の経過とともに自動的にそうなるものではない。政府はますます強引に迫ってくるはずだ。

坂本龍一 公演中止「仕方ない」が...



「僕は引きこもって黙々と作ってきた。これからもう」

ただ、政府が経済的な支援をせず、に公演を自粛するように求めていることは「ひきよう」に感じる。見捨てるのかちゃんと国として支援するのか。文化の大切さをどう思っているかが問われると思います。最近よく頭をよぎる言葉がある。「危機は権力に利用されやすい。清志郎が言っていたんですよ。「地震の後は戦争が来る。気をつけろ」」

「僕は引きこもって黙々と作ってきた。これからもう」

念頭にあるのは、日本で私権を制限できる「緊急事態宣言」が可能になったことへの強い懸念だ。「ナチスが使った緊急事態条項を思い起こします。今回の法改正は非常に危険だと思つた。野党(の一部)も賛成して成立してしまつた。未来から見たら、全体主義的な傾向にまた一歩近づいた出来事として記憶されるんじゃないかと思つた」

沖縄県政に対する圧力は翁長知事の最期を思えば想像絶するものがあると肝に銘じなければならず、またゲート前で立ちただかる人々に対する警備弾圧も一層厳しさを増してくるでしょう。

この辺野古新基地建設を巡る政府との攻防いよいよ正念場に差し掛かる。そう認識し決意を固めましょう。

私も沖縄平和運動センターを含め心ある多くの県民が政府の不当な介入・弾圧をはねのけて闘いに総立ち上がりするでしょう。

お集まりの首都圏の仲間の皆さん。手を携え連携してまいります。コロナウィルス対策にみる政府の危機感の欠如した後手後手の対応は、政治行政権力を一手に収め、その果実の全てを政権の延命と私利私欲にあてがう安倍政治の究極の姿を映し出したものと言わねばならず、このままこの政権が延命すれば、ますます悲惨な事態が待ち受けているだろうことは明らかであり、全国の回結でこの内閣を打ち倒して自らの運命を切り開く回路を取り返して行かなくてはなりません。

見境もなく大国中国との緊張を煽り地域の軍事化、軍事基地建設に余念のない日本政府安倍内閣を打倒して、不信と緊張が支配する沖縄先島諸島海域の平和を取り返す闘いが、脈々と全国の闘いと繋がっていることを感じながら、常駐する先島諸島宮古島からのメッセージとさせていただきます。首都圏の皆さん。全国の仲間の皆さん。共に手を取り合い闘って参りましょう！ (平和フォーラムのHPから)

# 歌の力が物語るもの 88

官邸前反原発行動 3/13 (2020回) 報告 長島

参加者 スーさん、葉子さん、鈴木、達哉、森、ナベさん、ヨネさん、望月、コミネッチ、もりやさん、イサさん、長島 計 12名

今日は17時から19時、「3・11東京電力福島原発事故後9年を迎える経産省前抗議行動」が経済産業省前のテントひろばで行われていた。

17時30分過ぎにテントひろばに行くところスーさんがいた。ギターを準備しているもりやさんがいる。ヨネさんもいる。おとなしくしていたがスーさんに見つかって一緒に歌うことになった。『座り込め』へ『友よ』とこちらも知っている方

## 水道橋だより

▼3月6日に開催が計画されていた、「止めよう辺野古新基地建設！辺野古裁判勝利！3.6首都圏集会」（共催：「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会）は、諸般の事情により延期となりました。▼沖縄の今の状況を全国に伝えるために、山城議長の集会用発言メッセージをそのまま掲載します。

(平和フォーラムのFBより)

▼3月7日の東電本社前抗議は、武笠さんの報告(3面)と武藤さんのメッセージ(1面)を紹介します。日音協と反原発うたいたいからは、7人が参加。「フクシマをくり返すな」と「私たちは許さない(東電前バージョン)」を歌いました。東電前抗議のあと、7人のうち4人は日本原電抗議(東海第二原発、再稼働工事はやめよ!)にも参加しました。(松本)

▼編集の最中、都内に一人暮らしの長女からLINE。体温計が売ってないので、古い電池を取り換えたが画面表示がされないとのこと。何度か画像でやりとりした後、直った！(フタの接触が悪かったらしい)そうだ。『感染しないように気をつけます』。不安だったんだろう。無下に対応しなくてよかった。(佐藤)

かな。コミネッチ、ナベさんが加わった。久しぶりに会う方で福島に思いを馳せ、いろいろ語り合った。達哉くんのリクエストで『ひな祭り』を歌う。

今日、「コロナ対策に関する特措法が国会で可決されたようだ。赤いじゅうたん敷き詰めた国会中継今見頃(ではなくなぜ中継しないの?)」「安倍の嘘はもう聞き飽きた」の「コロナバージョン」とセミナーバージョンを続けて歌う。葉子さんはリズムに乗って「安倍の嘘はもう聞き飽きた」とスリッパを履きながら「ナベさんの好きな」あたりまへの地球」を歌った後は「DO! 廃炉!」。今日は達哉くんのベルト音が効果的だった。長島は「♪とまり おおま ひがしどおり クソツタレ原発!」に集中。もりやさん、イサさん、ヨネさんが経産省前から移動してきて合流。伴奏が賑やかに

かな。9年間の日々を思うと怒鬱かな歌も力があると思う。「あなたに届け」とを歌う。もりやさんのリクエストで「ジュゴンがすむ海」を、その後「そんな世界が一番」をみんなで歌った。さようなら原発全国集会が中止となった。その他の集会も自粛しろという。今日可決された特措法はその奥に、安倍総理の「この機を逃してなるものか」「それが本音」という構図が見える。

私たちが物事の本質をきちんと見極めることができるようになったものだ。反原連の行動は中止なのに警察の車は数台見られた。パトロールするお巡りも私たちのひとりひとりを見ながら、時々声をかけたそうなお草を見せつつ歩いている。無視して歌い続けた。

新型コロナウイルスの診断と治療が確立される日が一刻も早く訪れ、終息する日が来ますように。

中途半端な情報での対応ではなく、今ある最善の知見できちんとした感染対策をしてほしい。対応が後手後手だ。経済も政治も行き詰まっている。このままでは人類は滅びてしまふのだろうか?自粛ばかりでは何が本当かわからない。報道されない真実を探して、来週(3/20)につづく...

▼新型コロナウイルスの影響により、東京五輪の開催日が一年延期になったと大きく報道された。なぜ中止でなく延期なのか、「一年」の根拠は何なのか、不明のまま。

▼そんなことより、春休みまでの期間、臨時休校としたため、子どもを持つ働く者は仕事を休むことを余儀なくされている。イベントが中止されたり、外出が自粛される中で、仕事を失い生活が成り立たなくなった人は大勢いる。▼感染症に対する取り組みは重要であることはいまでもないが、そのことよって、働く者が仕事や収入を失い困窮することがあってはならない。子どもを育てている労働者が、休校により休むことを余儀なくされた場合は、特別の有給休暇を認めるべきだし、ウイルス対策により経済活動が萎縮したことを口実に解雇や雇止めがあつてはならない。労働者の休む権利も守られなければならない。働き方についても自宅(在宅)勤務や時差出勤、時短勤務などを柔軟に認めるべきだ。▼そして労働組合の活動は今こそ重要だ。様々な問題に適切に対応して働く者の生活を守るためには、法律や政府による対応だけでは不十分であり、働く現場における

真剣な取り組みが求められる。▼五輪の祭り騒ぎはもう終わりにして欲しいものだ。

## どん行

(129)

飯島貞親

真剣な取り組みが求められる。▼五輪の祭り騒ぎはもう終わりにして欲しいものだ。